

(様式1) 実践事例

学校名	二本松市立油井小学校	校長名	天野 茂		
住所	二本松市油井字台5番地	児童生徒数	384	学級数	18
TEL	0243-22-0206	ホームページアドレス	http://www.yui-e.fks.ed.jp		

少人数のよさを生かした指導法の工夫

1 少人数指導の計画等

- (1) 第3, 4, 6学年において少人数学級編制を行い, 少人数のよさを生かしたきめ細かな学習指導及び生徒指導を行う。
- (2) 第3, 4, 6学年の体育科(月6時間), 音楽(月4時間), 総合的な学習の時間(月により異なる時数)等において, 学級の枠を超えた合同授業, 交換授業等の学習形態による指導を行う。
- (3) 第5, 6学年は, 本市独自採用算数科非常勤講師加配学年で, 第6学年は少人数学級編制となっている。第5, 6学年は, 各学級においてT Tの形態で週に平均3時間指導している。

2 実践の概要

- (1) 少人数グループによるお互いの考えを共有し認め合う場の設定

3~4人の少人数グループでの話し合いを行い, 一人一人が発表することでそれぞれの考えを尊重・吟味することができるようにするために, 話し合いのルールの大げさを確認しながら, 発表の仕方や話の聴き方, 互いの考えを尊重などを指導した。



各教科等で, 意図的計画的に少人数での話し合いの場を設定し, 教師は各グループの話し合いを見取り, 話し合いがうまくできないグループには適宜アドバイスをした。また, 互いの考えを尊重し認め合いながら話し合いをしているグループを全体で承認, 奨励, 称賛することで, よりよい話し合いの仕方が身に付くようにした。

その結果, 一人一人が自分の考えや学習への参加意識をもち, それぞれの考えの相違点やよさについて認め合い深め合うことができるようになってきた。

- (2) 算数科におけるT T指導による, 個に応じたきめ細かな指導

第5学年と第6学年は, 週平均3時間程度T Tによる指導を行っている。少人数学級編制に加えて, 本市独自採用の算数科非常勤講師がT 2となり, きめ細かな指導を行っている。



T 1が主に全体指導, T 2が個への支援をし, 自力解決や習熟の時間にはT 1が上位児, T 2が下位児への助言・指導をして理解が定着するようにした。T 2がアシスタント的な役割だけにならないように留意し, 役割分担を明確にして指導にあたった。児童のつぶやきや発言, 学びの姿を積極的に見取り, 称賛する授業を目指し実践した結果, 児童は意欲的に取り組み, 達成感をもつようになってきた。

- (3) 体育科での児童の実態に応じた指導法の工夫

第3学年の体育の合同授業において, 学年の担任が分担して「浮く・泳ぐ運動」

のコース別学習を実践した。一人一人の児童に自己決定の場を与え、教師が一人一人の児童に声かけをしながら自分に合ったコースを選択し、目標を決めることができるようにした。



Aコース

＜泳げない児童＞
個々の児童の実態に合わせ水に親しむことに重点を置いた指導



Bコース

＜長く泳げない児童＞
足の動きや呼吸のリズムを習得させるなど、ポイントを絞った指導



Cコース

＜25m以上泳げる児童＞
より長く泳ぐ、正しいフォームで泳ぐという目標をもたせた指導

自分に合ったコースを選択した児童は、自分の目標に向かって意欲的に学習に取り組んでいた。各コースの教師は、コース内の児童の取組を積極的に価値付け称賛しながら、全体の機運を盛り上げるようにした。自信をもって意欲的に取り組めない児童に対しては、安心して自分のペースで取り組めるようにアドバイスした。

学級担任3名による実態に合わせたコース別学習を実施することで、児童は自分の目標を明確にもって学習に取り組み、泳力を伸ばすことができた。

3 実践の成果と課題

- 小グループでの話し合いでは、教師が児童の考えを生かすという意識をもって関わることで、一人一人が学習への参加意識を高め、自分の考えをもち、他の児童の考えとの相違点やよさについて認め合い深め合うことができるようになってきた。それが、よりよい学級・学習集団の育成につながっている。
- TTによる指導体制をとり、児童の多様な考えを多く取り上げ、価値付け、全体で共有・吟味することで、学び合いを生かした学習活動が充実し、学習内容が確実に定着してきている。
- 小グループでの話し合いの際、なかなか話し合いが進まないグループが見られた。そのため、グループ編成の際には、児童の知識・技能等の習熟度、学習速度、理解度などの量的な個人差や興味・関心、学習意欲、学習スタイル、生活経験や環境などの質的な個人差の実態を考慮する必要がある。さらに少人数学級だからこそできる意義ある話し合い活動を学年や関係教員で検討し実施したい。
- 同学年だけでなく、各学年ブロックや専科等の教員を含めた学習形態や指導の工夫を行い、より多くの教師が子ども達に意図的に関わり、さらに児童の学力が向上するよう努めたい。